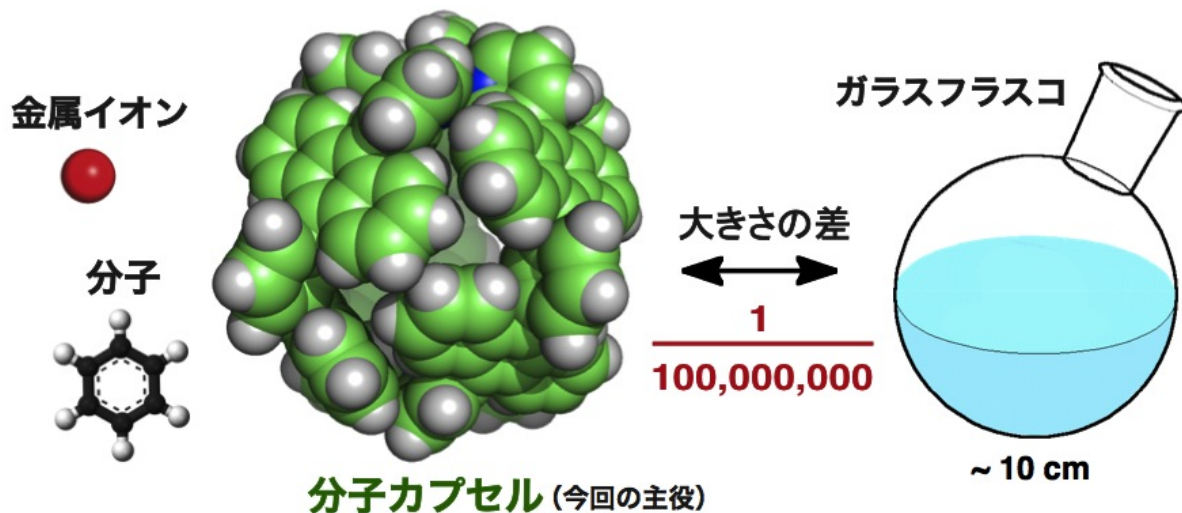


東京工業大学 博物館 & 目黒区教育委員会 連携講座

スーパームレキュラー ケミストリー

もっと身近にサイエンス！ 超分子化学： ナノサイズのカプセルを作る



化学の世界には、様々な「結合」が存在します。大きく分けると2つ。1つは、一度付いたら離れない結合で、もう1つは、何度も付いたり離れたりする結合です。これまで、前者に関する研究は盛んに行われ、数多くの実用的な材料や薬が開発されてきました。それに対して近年、後者の結合を利用することで、簡便な合成や再生可能など、これまでにない特徴や機能を持った化合物の開発がとても注目されています。この新しい研究分野は、「超分子化学」と呼ばれています。

今回の講座では、超分子化学の手法で作製に成功した約1ナノメートル（普通のガラスフラスコの1億分の1の大きさ）の分子カプセルについて、その設計から合成と構造、そして性質までを紹介します。また、大学院生たちと一緒にそのカプセル作りも体験してもらいます。作ったカプセルに何が入るか？お楽しみに。



【日時】 平成27年3月8日（日）午後1時30分～午後4時30分
（受付開始 午後1時～）

【会場】 東工大 蔵前会館 ロイヤルブルーホール
（東急目黒線・大井町線 大岡山駅 徒歩1分）

【講師】 吉沢道人 氏（東京工業大学 資源化学研究所・准教授）

【定員】 20名

【対象】 高校生（地域の制限ありません）

【内容】 分子カプセルに関する講義（前半）および化学実験（後半）